

更新事業

構造物を長期にわたり健全に保ち、お客さまに安全・安心な道路を提供し続けるために、
2014年11月より更新事業を推進しています。

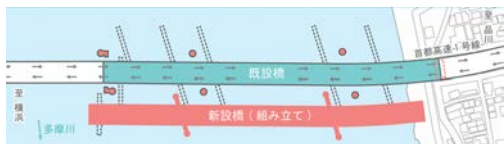
主な更新事業

「高速大師橋」

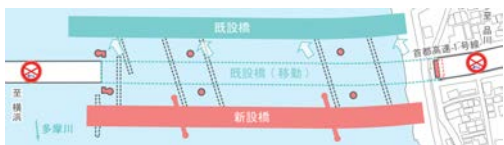
社会的影響（施工時の交通影響）を最小限に抑えるための工夫

- ・延長約300mの新設橋を旧橋の位置へ移動して架設
- ・既設路線の通行止めから開通まで、2週間の短期間で実施

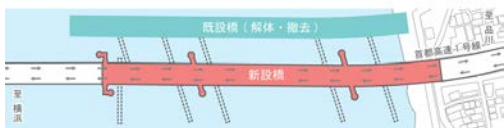
● 新設橋の組み立て



● 新設橋の架設（通行止め）



● 旧橋の解体



● 架設の状況



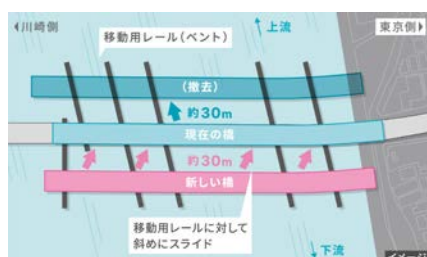
旧橋のスライド撤去状況



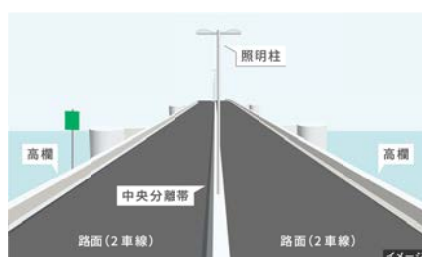
新設橋のスライド架設状況

2週間での架け替えを実施するための工夫

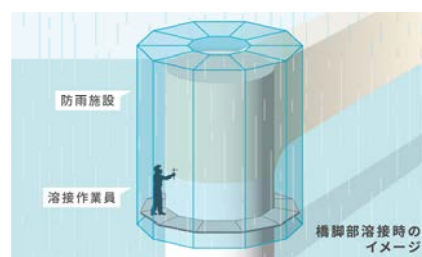
1 スライドによる一括掛け替えを実現



2 予め橋をほぼ完成させ、通行止め期間を短縮



3 雨天でも工事可能な環境を整備し、確実に工程を管理



更新事業

「東品川栈橋・鯨洲埋立部」

社会的影響（施工時の交通影響）を最小限に抑えるための工夫

- ・ 上り線を設置することにより、交通に大きな影響を与えることなく工事を実施

● 上り線う回路を設置し、上り線を更新



● 更新上り線へ下り線を切り替え、下り線を更新



新たな技術の開発、活用等

- ・ 施工性、維持管理性、長期耐久性等の向上

更新前



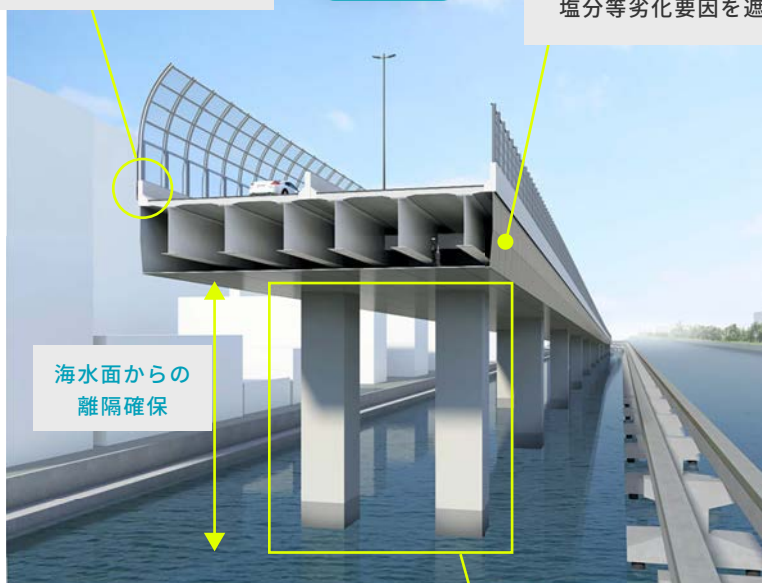
コンクリート桁のはく離・鉄筋腐食



桁下と海水面が近接しており、維持管理が困難

設置や取替えが容易な
プレキャスト壁高欄を開発

更新後



維持管理用足場
(恒久足場)を設置し、
塩分等劣化要因を遮断

橋脚の防食対策の強化として、
金属溶射・ステンレスライニングを採用